



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月4日

上場会社名 キックマン株式会社

上場取引所 東

コード番号 2801 URL <http://www.kikkoman.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀切 功章

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 臼井 一起

TEL 03-5521-5811

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	258,413	14.6	19,609	18.0	18,756	20.2	11,944	32.3
25年3月期第3四半期	225,480	—	16,614	—	15,598	—	9,027	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 33,944百万円 (124.7%) 25年3月期第3四半期 15,106百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	59.75	59.71
25年3月期第3四半期	44.91	—

(注) 25年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は、会計方針の変更に伴い遡及適用が行われたため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	377,113	217,609	57.4
25年3月期	337,051	187,459	55.2

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 216,305百万円 25年3月期 186,168百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期(予想)				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	337,000	12.2	23,200	17.1	21,000	12.3	12,500	13.6	62.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

対前期増減率は、会計方針の変更に伴い遡及適用が行われたため、遡及処理後の数値との比較によるものであります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 5 ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 5 ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	210,383,202 株	25年3月期	210,383,202 株
26年3月期3Q	10,422,332 株	25年3月期	10,651,103 株
26年3月期3Q	199,903,305 株	25年3月期3Q	201,007,800 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 5 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

第3四半期決算補足説明資料は、TDnetで本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期における世界経済は、米国で緩やかに景気が回復しており、欧州では景気に持ち直しの兆しがみられ、全体として弱い回復が続いているものの底堅さが増しています。日本経済は、個人消費が増加し、設備投資も持ち直しており、景気は穏やかに回復しつつあります。

このような状況下における、当社グループの売上は、国内については、しょうゆ、食品、飲料、酒類共に売上を伸ばし、食料品製造・販売は前年同期を上回りました。海外については、しょうゆは北米・欧州を中心に順調に売上を伸ばし、食料品卸売事業も好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

その結果、当第3四半期の連結業績は次の通りとなりました。

<連結業績>

(単位 百万円, %)

区 分	前年同四半期		当第3四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除	
	24年4月1日～ 24年12月31日		25年4月1日～ 25年12月31日		金 額	%	売上 比差		金 額	%
	金 額	売上比	金 額	売上比						
売 上 高	225,480	100.0	258,413	100.0	32,933	114.6	—	22,968	9,964	104.4
営 業 利 益	16,614	7.4	19,609	7.6	2,994	118.0	0.2	2,577	416	102.5
経 常 利 益	15,598	6.9	18,756	7.3	3,158	120.2	0.4	2,244	913	105.9
四 半 期 純 利 益	9,027	4.0	11,944	4.6	2,917	132.3	0.6	1,636	1,280	114.2
	USD	80.43	99.23		18.80					
	EUR	103.24	132.13		28.89					

<報告セグメント>

(単位 百万円, %)

区 分		前年同四半期		当第3四半期		対前年同四半期			為替差	為替差除	
		24年4月1日～ 24年12月31日		25年4月1日～ 25年12月31日		金 額	%	売上 比差		金 額	%
		金 額	売上比	金 額	売上比						
国内 食料品製造 ・販売	売 上 高	121,044	100.0	124,135	100.0	3,091	102.6	—	—	3,091	102.6
	営業利益	5,884	4.9	4,443	3.6	△1,441	75.5	△1.3	—	△1,441	75.5
国内 その他	売 上 高	15,405	100.0	15,264	100.0	△ 140	99.1	—	—	△ 140	99.1
	営業利益	1,166	7.6	781	5.1	△ 385	67.0	△2.5	—	△ 385	67.0
海外 食料品製造 ・販売	売 上 高	36,594	100.0	47,468	100.0	10,874	129.7	—	8,636	2,237	106.1
	営業利益	6,639	18.1	9,234	19.5	2,594	139.1	1.3	1,719	875	113.2
海外 食料品卸売	売 上 高	67,243	100.0	87,646	100.0	20,402	130.3	—	15,417	4,985	107.4
	営業利益	2,915	4.3	4,208	4.8	1,293	144.4	0.5	637	656	122.5
調整額	売 上 高	△14,807	100.0	△16,102	100.0	△1,295	—	—	△1,085	△ 209	—
	営業利益	9	—	941	—	932	—	—	221	711	—
四半期連結 損益計算書 計上額	売 上 高	225,480	100.0	258,413	100.0	32,933	114.6	—	22,968	9,964	104.4
	営業利益	16,614	7.4	19,609	7.6	2,994	118.0	0.2	2,577	416	102.5
	USD	80.43		99.23		18.80					
	EUR	103.24		132.13		28.89					

(注) 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、一部の国内連結子会社につきまして、収益認識基準を変更しております。

前年同四半期については、当該会計方針を遡及適用後の数値となっております。

各報告セグメントの状況は次の通りであります。

【国内】

国内における売上の概要は次の通りであります。

(国内 食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、つゆ・たれ・デルモンテ調味料等の食品部門、豆乳飲料・デルモンテ飲料等の飲料部門、みりん・ワイン等の酒類部門からなり、国内において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

■しょうゆ部門

しょうゆは、「いつでも新鮮」シリーズで、生活者のニーズに合った「やわらか密封ボトル」450mlの容器を前期に投入し、「新鮮な生しょうゆのおいしさ」「鮮度維持」とあわせて「使いやすさ」という付加価値の提案を行い、新たなカテゴリーの拡大を牽引いたしました。加工用分野でも売上を伸ばし、部門全体として前年同期を上回りました。

■食品部門

つゆ類は、家庭用分野では、主力商品の「本つゆ」やストレートつゆが好調に推移し前年同期を上回りました。加工・業務用分野でも売上を伸ばし、つゆ類全体として前年同期を上回りました。たれ類は、主力商品である「わが家は焼肉屋さん」が、新商品の「しょうゆ糰のつけこみだれ」の貢献もあり売上を伸ばしました。一方で加工・業務用分野は前年同期を下回り、たれ類全体として前年を若干下回りました。「うちのごはん」は、積極的な新商品開発やテレビ広告、店頭販促活動を行い、市場の拡大を牽引し、前年同期を大きく上回りました。デルモンテ調味料は、「リコピンリッチトマトケチャップ」等の新商品の貢献があったものの、全体としては前年同期並みとなりました。この結果、部門全体として前年同期を上回りました。

■飲料部門

豆乳飲料は、飲用だけでなくレシピ本を活用し料理用として訴求する等、テレビや雑誌などの各メディアと連携を図りながら、市場拡大につながる販促活動を実施しました。また、「豆乳飲料マンゴー」「豆乳飲料メロン」等の新商品も好調であり、健康志向の高まりを背景に特定保健用食品の商品も伸長し、豆乳飲料全体で前年同期を上回りました。デルモンテ飲料は、デルモンテ50周年記念キャンペーンなどの販促活動を行い、「朝トマト」「朝サラダ」等の新商品やギフト商品が売上拡大に寄与しましたが、前年同期に大きく売上を伸ばしたトマトジュースの売上拡大が一巡したこともあり、デルモンテ飲料全体としては前年同期を下回りました。この結果、部門全体としては、前年同期を上回りました。

■酒類部門

本みりんは、家庭用1Lの伸びや新商品の「米麹こだわり仕込み本みりん」の貢献もあり、本みりん全体として前年同期を上回りました。国産ワインは、加工・業務用分野で売上を伸ばしました。輸入ワインも市場開拓に取り組んだ結果、前年同期を上回りました。この結果、部門全体として前年同期を上回りました。

以上の結果、国内 食料品製造・販売事業の売上高は1,241億3千5百万円（前年同期比102.6%）と増収となりましたが、原材料等のコスト増もあり営業利益は44億4千3百万円（前年同期比75.5%）と減益となりました。

(国内 その他事業)

当事業は、臨床診断薬・衛生検査薬・加工用酵素、ヒアルロン酸等の化成品等の製造・販売、不動産賃貸及び運送事業、グループ会社内への間接業務の提供等を行っております。

糖尿病検査用酵素等の臨床診断薬は前年を上回りましたが、ヒアルロン酸や運送事業は前年を下回りました。全体としては、前年同期を下回りました。

この結果、国内 その他事業の売上高は152億6千4百万円（前年同期比99.1%）、営業利益は7億8千1百万円（前年同期比67.0%）と、減収減益となりました。

【海外】

海外における売上の概要は次の通りであります。

(海外 食料品製造・販売事業)

当事業は、しょうゆ部門、デルモンテ部門、海外における健康食品等のその他食料品部門からなり、海外向けの輸出版売及び海外において当該商品の製造・販売を手がけております。各部門の売上の概要は次の通りであります。

■しょうゆ部門

北米市場においては、家庭用分野では、主力商品であるしょうゆに加え、しょうゆをベースとした調味料などの拡充に引き続き力を入れ、当社のブランド力を生かした事業展開を行ってまいりました。また、加工・業務用分野では顧客のニーズに合わせたきめ細かい対応を行ってまいりました。この結果、全体として前年同期を上回りました。

欧州市場においては、最需要国であるロシアをはじめ、重点市場であるドイツ、イギリスでも順調に売上を伸ばし、全体として2桁成長を維持しました。

アジア・オセアニア市場は、タイ、インドネシアなどが堅調に推移し、全体として前年同期を上回りました。

この結果、部門全体では為替換算の影響もあり前年同期を大きく上回りました。

■デルモンテ部門

当部門は、アジア・オセアニア地域で、フルーツ缶詰・コーン製品、トマトケチャップ等を製造・販売しております。

中国と香港向けが堅調に推移し、全体として前年同期を上回りました。

■その他食料品部門

当部門は、主に北米地域において、健康食品を製造・販売しております。

医師ルート向けの売上が引き続き好調に推移したことから、部門全体では前年同期を上回りました。

以上の結果、海外 食料品製造・販売事業の売上高は474億6千8百万円（前年同期比129.7%）、営業利益は92億3千4百万円（前年同期比139.1%）と、増収増益となりました。

(海外 食料品卸売事業)

当事業は、国内外において、東洋食品等を仕入れ、販売しております。

北米では、アジア系マーケットにとどまらず、ローカルマーケットへのさらなる浸透を進め、売上を伸ばしました。また、欧州、オセアニアでは引き続き市場拡大が続いており、各地域で順調に推移いたしました。この結果、前年同期を上回りました。

この結果、海外 食料品卸売事業の売上高は876億4千6百万円（前年同期比130.3%）、営業利益は42億8百万円（前年同期比144.4%）と、増収増益となりました。

以上の結果、当第3四半期の連結業績は、売上高は2,584億1千3百万円（前年同期比114.6%）、営業利益は196億9百万円（前年同期比118.0%）、経常利益は187億5千6百万円（前年同期比120.2%）、四半期純利益は119億4千4百万円（前年同期比132.3%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,436億円となり、前連結会計年度末に比べ175億9千万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金、現金及び預金、その他の流動資産が増加したことによるものであります。固定資産は2,335億1千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ224億7千万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券、有形固定資産が増加したことによるものであります。

この結果、総資産は3,771億1千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ400億6千1百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は526億5千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ64億9千6百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金が増加したことによるものであります。固定負債は1,068億4千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ34億1千5百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が増加した一方、繰延税金負債が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,595億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ99億1千1百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,176億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ301億4千9百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金に加え、為替換算調整勘定、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は57.4%（前連結会計年度末は55.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績につきましては、最近の平成26年3月期第2四半期決算短信（平成25年10月31日発表）により開示を行った業績予想から変更はありません。なお、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書（平成25年6月25日提出）により開示を行った内容から重要な変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

特定子会社以外の子会社の異動

連 結（新規）	キッコーマンデイリー(株)	（新規設立）
	日本デルモンテアグリ(株)	（新規設立）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(収益認識基準の変更)

当社の国内連結子会社では、従来、主として出荷基準により収益を認識しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、一部の国内連結子会社につきまして、契約条件等に基づき納品日に収益を認識する方法に変更しております。この変更は、顧客との取引関係において実態により即したものにすべく、請求の計上日を納品日に変更することに顧客との間で合意し、これに対応するためのシステムの整備が完了したことから、売上の実態をより適切に反映させるために行ったものであります。

なお、前年同四半期及び前連結会計年度については、当該会計方針を遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前に比べて、前第3四半期連結累計期間の売上高は1億7千4百万円増加しており、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1千8百万円増加しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は3億9千万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,598	34,328
受取手形及び売掛金	44,053	52,634
有価証券	131	131
商品及び製品	23,984	25,887
仕掛品	10,405	11,084
原材料及び貯蔵品	3,861	4,409
繰延税金資産	5,610	4,783
その他	7,570	10,729
貸倒引当金	△205	△386
流動資産合計	126,010	143,600
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	42,529	46,588
機械装置及び運搬具(純額)	32,542	35,265
土地	20,039	21,805
リース資産(純額)	181	177
建設仮勘定	5,351	1,920
その他(純額)	3,048	3,722
有形固定資産合計	103,693	109,479
無形固定資産		
のれん	21,792	20,578
その他	3,675	4,220
無形固定資産合計	25,468	24,799
投資その他の資産		
投資有価証券	70,858	87,649
長期貸付金	691	695
繰延税金資産	1,112	1,032
その他	9,948	10,584
貸倒引当金	△732	△727
投資その他の資産合計	81,879	99,233
固定資産合計	211,041	233,512
資産合計	337,051	377,113

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,005	18,150
短期借入金	7,338	13,362
リース債務	57	65
未払金	13,412	12,521
未払法人税等	2,095	1,943
賞与引当金	2,172	662
役員賞与引当金	84	67
その他	4,995	5,885
流動負債合計	46,162	52,658
固定負債		
社債	70,000	70,000
長期借入金	15,600	13,600
リース債務	94	106
繰延税金負債	5,699	11,048
退職給付引当金	4,271	3,847
役員退職慰労引当金	967	891
環境対策引当金	321	507
その他	6,475	6,844
固定負債合計	103,429	106,845
負債合計	149,591	159,503
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,599	11,599
資本剰余金	21,227	21,340
利益剰余金	169,702	177,645
自己株式	△10,352	△10,182
自己株式申込証拠金	78	41
株主資本合計	192,254	200,443
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,867	15,703
繰延ヘッジ損益	19	37
為替換算調整勘定	△10,918	1,269
在外子会社の年金会計に係る未積立債務	△1,054	△1,148
その他の包括利益累計額合計	△6,085	15,862
新株予約権	115	58
少数株主持分	1,174	1,245
純資産合計	187,459	217,609
負債純資産合計	337,051	377,113

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	225,480	258,413
売上原価	131,655	153,819
売上総利益	93,825	104,594
販売費及び一般管理費	77,210	84,984
営業利益	16,614	19,609
営業外収益		
受取利息	84	98
受取配当金	667	806
持分法による投資利益	632	883
受取賃貸料	358	414
デリバティブ評価益	1,001	2,817
その他	917	1,265
営業外収益合計	3,661	6,285
営業外費用		
支払利息	1,188	1,140
為替差損	1,139	2,796
その他	2,350	3,202
営業外費用合計	4,678	7,139
経常利益	15,598	18,756
特別利益		
有形固定資産売却益	266	1,074
投資有価証券売却益	1	94
補助金収入	854	—
受取賠償金	635	—
特別利益合計	1,759	1,168
特別損失		
固定資産除却損	448	859
固定資産圧縮損	854	—
投資有価証券評価損	1,323	—
ゴルフ会員権評価損	29	2
取引終了に伴う補償金	—	671
その他	69	—
特別損失合計	2,724	1,533
税金等調整前四半期純利益	14,632	18,391
法人税等	5,520	6,400
少数株主損益調整前四半期純利益	9,112	11,990
少数株主利益	85	45
四半期純利益	9,027	11,944

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,112	11,990
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,390	9,266
繰延ヘッジ損益	20	14
為替換算調整勘定	4,218	11,592
在外子会社の年金会計に係る未積立債務	△11	△93
持分法適用会社に対する持分相当額	376	1,173
その他の包括利益合計	5,994	21,954
四半期包括利益	15,106	33,944
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,012	33,892
少数株主に係る四半期包括利益	94	51

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内 食料品製 造・販売	国内 その他	海外 食料品製 造・販売	海外 食料品 卸売	計		
売上高							
外部顧客への売上高	120,213	6,074	32,105	67,086	225,480	—	225,480
セグメント間の内部 売上高又は振替高	830	9,330	4,489	156	14,807	(14,807)	—
計	121,044	15,405	36,594	67,243	240,287	(14,807)	225,480
セグメント利益	5,884	1,166	6,639	2,915	16,605	9	16,614

(注) 1. セグメント利益の調整額 9百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内 食料品製 造・販売	国内 その他	海外 食料品製 造・販売	海外 食料品 卸売	計		
売上高							
外部顧客への売上高	123,302	6,082	41,613	87,415	258,413	—	258,413
セグメント間の内部 売上高又は振替高	832	9,182	5,855	231	16,102	(16,102)	—
計	124,135	15,264	47,468	87,646	274,516	(16,102)	258,413
セグメント利益	4,443	781	9,234	4,208	18,668	941	19,609

(注) 1. セグメント利益の調整額 941百万円は、主に全社費用配賦差額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(収益認識基準の変更)

「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、一部の国内連結子会社につきまして、収益認識基準を変更しております。

前第3四半期連結累計期間については、当該会計方針を遡及適用後のセグメント情報となっており、「国内 食料品製造・販売」において売上高は1億7千4百万円増加しており、セグメント利益は1千8百万円増加しております。